

1. 2022年度国内ダイカスト受注動向

I アルミニウムダイカストの受注動向（対前年同期重量比増減率）

II 亜鉛ダイカストの受注動向（対前年同期重量比増減率）

III マグネシウムダイカストの受注動向（対前年同期重量比増減率）

表1 2022年度国内ダイカスト受注動向 アンケート結果

ダイカストの用途	I アルミニウム			II 亜鉛			III マグネシウム		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
1. 一般機械用	5.1	4.8	4.9	0.5	9.3	4.9	-44.4	0.0	-44.4
2. 電気機械用	14.6	1.7	8.1	-2.7	-4.8	-3.8	0.0	0.0	0.0
3. 自動車用	12.6	11.7	12.2	-0.7	6.8	2.9	-25.0	-25.0	-25.0
4. 二輪自動車用	0.7	7.7	4.0	-9.8	-16.3	-13.3	-7.1	3.3	-1.7
5. その他用	-5.2	-2.8	-4.0	-2.0	-0.8	-1.4	63.6	104.8	90.6
6. 全体	11.5	10.7	11.1	-1.4	2.1	0.4	-20.2	6.1	-9.3

単位（％）

＊）上期：本年4月～9月、下期：本年10月～来年3月、通期：本年4月～来年3月

（アンケート結果に対するコメント）

アルミニウムは、既存製品の減少が見込まれるものの、新商品・新開発品の立ち上がりへの期待があり、前年比11.1%増となった。また、亜鉛については前年比0.4%増となった。一方、マグネシウムは、ユーザーの生産量減少が顕著に表れ、前年比-9.3%減となった。なお、マグネシウムに関しては、社数が少ない上、1社の数値で大きく変動することがあることを申し添える。